

## 2. 11 平和について考える日

### ～いのちの尊厳を守るために必要なものは何か～

今年は“いのちの尊厳を守るために必要なものは何か”をテーマに、一緒に考えたいと思っています。近年、欧米諸国などで重い病気などの末期患者に対して安楽死を認める動きが活発化していて法制度化されている国も増えてきています。現在日本においてもその動きが出てきています。今回はその「死ぬ権利」を認めようとする動きと実情について学ぶと共に、「死にたいと思うほど苦しい」のはなぜか？そこから救われるために私たちが出来ることはないのか？を考えていきたいとします。長年取材を続けてこられてきた児玉さんから「社会」と「家族」の2つの視点からお話をお聞かせいただき、死ぬ権利が問われる今この世の中で、私たちが“「いきる」ことこそを大事に考えていける社会”の実現に向かって、何が出来るのかを考えましょう。

日時：2月11日(火) 10:00～12:00

場所：愛隣館 園ホール

登壇者：<sup>こだま まみ</sup>児玉真美さん（一般社団法人 日本ケアラー連盟代表理事）※zoom 参加

1956年生まれ。京都大学文学部卒。カンザス大学教育学部にてマスター取得。中学、高校、大学で英語を教えた後、現在、著述業。長女に重症心身障害がある。（ちくま書房著者紹介より抜粋）

著書に、『殺す親 殺させられる親—重い障害のある親の立場で考える孫源治・意思決定・地域移行』（生活書院、2019）、『安楽死が合法の国で起こっていること』（ちくま新書、2023）、『障害のある人の親がものを言うということ 医療と福祉・コロナ禍・親亡き後』（生活書院、2024）、他多数。

参加方法：裏面の記入欄に必要事項を記入の上愛隣館スタッフにお渡しいただくか、

右のQRコードを読み込み google フォームにて申し込みください。

参加費：無料

### 【 プログラム 】

10:00～10:10：開会の挨拶・2.11 について

10:10～11:40：<sup>こだま まみ</sup>児玉真美さんのお話

11:40～12:00：質問タイム

※駐車スペースが少ない為、公共交通機関でお越しください。



### 2.11 平和について考える日

2月11日は「建国記念の日」とされています。しかし、元をたどれば“紀元節”という、神話上の人物とされる神武天皇が即位した日とされている日。太平洋戦争の際にはこの日が利用されて多くの方が亡くなりました。愛隣館では毎年2月11日に平和について考える日として様々な取り組みを行ってきました。

## 2024年度 2.11「平和について考える会」 申し込み

- お名前

---

- 参加方法（○でかこってお答えください）

愛隣館の会場での現地参加

•

ZOOMでのオンライン参加

- ZOOMでの参加をご希望の方はメールアドレスをご記入ください。

※開催時期が近くなりましたらご記入いただいたメールアドレスにZOOMのURLをお送りさせていただきます。

---